

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38442
事業名	商店街商業機能向上支援費					
評価担当課	所 属	経)産業振興部 商業・経営支援			電話番号	011-211-2372
施策名	中小企業・小規模企業や商店街など、事業を営むすべての活動が活					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成			○ その他		

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	市内の商店街数は、大型ショッピングセンターの進出やインターネット販売の普及に伴う消費行動の多様化などの影響を受け、ピークである平成6年度(138団体)から約半数(令和6年度:67団体)まで減少し、商店街への来街者数は減少傾向にある。「札幌市中小企業振興条例」「産業振興ビジョン」には商店街の支援が明記されており、これまで商店街の商業機能の強化に資する取組を支援してきたところ。 また、消費者は、そこでしか購入・体験できない高付加価値の商品を求める傾向にある中、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、巣ごもり消費から外出型消費へ移行している。さらには、暮らしの様々な場面でデジタル化が進展する中、キャッシュレスなどの非接触サービスへのニーズはより一層高まっている。
	事業内容(何を実施し)	【集客力アップ事業】 1 一般型:紙の商品券発行など販売促進事業に対して経費の一部を補助した。 2 デジタル活用型:デジタルを活用した販売促進事業に対して経費の一部を補助した。 3 環境整備型:商店街全体の集客力向上に資する新たな環境整備に対して経費の一部を補助した。 対象者:市内の商店街振興組合ほか 実績 :11件、4, 079千円 【新商品・新サービス開発支援事業】 新商品・新サービスの開発に対し、経費の一部を補助した。 対象者:商店街加盟店2者以上を含む商業者グループ 実績 :2件、1, 956千円
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	引き続き、商店街の集客力向上のための販促活動・環境整備などの取組や、商店街加盟店を中心としたグループによる新商品開発などを支援することで、商店街ひいては地域に新たな「ヒト」「モノ」「コト」を呼び込み、商店街の立地するエリアの商業地としての魅力を高め、商店街の持続的な発展を目指していく。
	他都市の状況	①東京都「商店街デジタル化推進事業」補助率9/10、上限1,000万円 ②川崎市「商店街等デジタル化モデル事業補助金」補助率3/4、上限100万円
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	31,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.5 人工
令和5年度決算額	6,035 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.5 人工
令和6年度予算額	24,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.5 人工

指標	アウトプット活動指標1	補助を活用した商店街の集客力向上事業数(単年)				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		－	5件	13件	28件	32件	32件	
	↓							
	アウトカム成果指標1	補助の活用により「来街者が増加した」と回答した商店街の割				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		－	100%	100%	100%	100%	100%	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	今後も引き続き、事業周知や申請サポートを積極的に行うことで、補助事業の利用推進を図りたい。						
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	↓							
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	引き続き、商店街の商業機能の向上を支援するとともに、商店街のニーズを踏まえた支援内容となるように適宜見直していく。